

## 第2次中期経営計画

(2023年4月～2028年3月)

一步先を行き、いつも地域の力になる ～1st stage～  
スピード感のある変革に挑戦し、新たな価値を創造する5年間



## 業績ハイライト (2024年9月期)

### 第2次中期経営計画の主要計数

親会社株主に  
帰属する  
中間純利益(連結)  
**103** 億円  
前年同期比 +8億円

連結ROE  
**4.75** %  
前年同期比 +0.0ポイント

連結修正OHR  
**58.33** %  
前年同期比 △2.73ポイント

連結自己資本比率  
**10.87** %  
前年同期比 +0.15ポイント

預金等残高(未残・十六銀行単体)  
**6兆 4,505** 億円  
前年同期比 +859億円

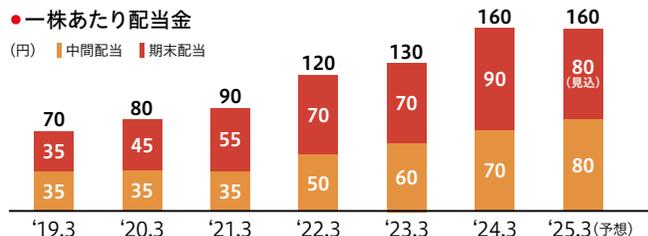
貸出金残高(未残・十六銀行単体)  
**4兆 9,210** 億円  
前年同期比 +1,368億円

## 株主還元状況

当社は株主還元の充実を目指し、2019年3月期より5期連続の増配を実施してきました。

2025年3月期中間配当は80円とし、年間配当は160円を予定しています。  
今後も財務体質の一層の向上をはかりつつ、株主還元の充実をはかっていきます。

● 一株あたり配当金  
(円) ■ 中間配当 ■ 期末配当



## 株式情報

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金	期末配当は、毎年3月31日を基準日といたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
基準日	定時株主総会については毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告といたします。 当社ホームページ( <a href="https://www.16fg.co.jp/">https://www.16fg.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

## 株主優待制度

当社では、株主のみみなさまの日頃のご支援およびご愛顧にお応えするため、下記のとおり「株主優待制度」を実施しています。

### 夏の株主優待 基準日 3月31日

対象/当社株式を100株以上保有の株主さま



ナチュラルミネラルウォーター  
「高質の森水」1箱(500ml×24本)

### 冬の株主優待 基準日 9月30日

対象/当社株式を500株以上保有の株主さま



地元の名産品等の中から1点選択

## Profile

商号	株式会社十六フィナンシャルグループ
所在地	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理 ならびにこれに付帯関連する一切の業務 ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
資本金	360億円
設立日	2021年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミアム市場 (証券コード:7380)

十六フィナンシャルグループのホームページはこちら▶  
<https://www.16fg.co.jp/>



発行: 株式会社 十六フィナンシャルグループ グループ企画統括部  
岐阜市神田町8丁目26番地 TEL(058)207-0016(代)  
発行日: 2024年11月30日



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# 16 Report

じゅうろくレポート  
2024年9月期



人と、地域と、未来をむすぶ

十六フィナンシャルグループ



株式会社 十六フィナンシャルグループ  
代表取締役社長  
**池田直樹**

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
ここに、当社グループの営業の概況やトピックスを要約した報告書「16Report」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

当社は、1877年10月に、岐阜市において地元の商工業者・地主によって第十六国立銀行として創業しました。そして、旧本店竣工時に渋沢栄一氏から頂いた扁額「順理則裕」の精神は、現在に至るまで役員に脈々と受け継がれています。

こうした140年超の歴史のなかで、2021年10月、「地域総合金融サービス業」へとビジネスモデルを転換していくために、十六フィナンシャルグループを設立し、持株会社体制へと移行しました。当社グループは現在、当社および中核となる十六銀行を含む全12社で構成しています。

経営環境が大きく変化するなか、当社グループは「異業種との連携」や「新会社の設立」による事業領域の拡大をはかり、これらを基盤として2023年4月より長期ビジョン「16Vision-10」と、第2次中期経営計画「一歩先を行き、いつも地域の力になる ~1st stage~」において、スピーディーな変革に取り組んでおります。

伝統を礎に、新時代を拓く地域総合金融サービスグループへと進化するために、幅広い事業領域を強みに施策と行動を大胆かつ柔軟にChange（チェンジ）し、持続可能な地域社会の形成に向けたChallenge（チャレンジ）を続け、ステークホルダーのみなさまとの積極的なCommunication（コミュニケーション）を通じて、「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」に貢献してまいります。

みなさま方におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 十六フィナンシャルグループ 設立3周年

当社は、2024年10月1日に設立3周年を迎えました。  
持株会社体制への移行によりビジネスモデルを転換してきた当社グループは、投資やDX、まちづくりや経営承継支援を専門に行う会社をスピード感をもって立ち上げました。  
グループ全12社が一体となって「一歩先を行き、いつも地域の力になる」地域総合金融サービスグループへと着実に歩みを進めていきます。



本年10月に開催した十六フィナンシャルグループ「設立3周年」トップ懇談会においてお客さまへご挨拶する池田社長

### 「STATION Ai」へプログラムスポンサーとして参画

当社は、2024年10月31日に名古屋市昭和区に開業した日本最大規模のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」に最高位スポンサーとなる「プログラムスポンサー」として参画しました。

当社グループがもつスタートアップ支援のノウハウや情報を提供する相談窓口を設置し、これまで形成してきた岐阜県を中心とするスタートアップのコミュニティとSTATION Aiに入室・参画するスタートアップなどとの連携をはかっています。また、イベント開催や交流機会の提供などを通じて、起業家の創出や事業会社とのマッチング、オープンイノベーションの創出に向けた取組みを強化していきます。



STATION Aiの外観

### 十六銀行ファンドラップの取扱開始

当社は2024年2月にりそなグループと「リテール分野における戦略的業務提携」を行いました。

2024年11月には協業の第1弾となる「十六銀行ファンドラップ」をリリースしました。

ファンドラップはお客さまとの投資一任契約により、さまざまな金融商品への投資を一任いただけるサービスです。今後もりそなグループとの協働により、お客さまの幅広いニーズに沿った商品・サービスを展開していきます。



十六銀行ファンドラップパンフレット

### サステナビリティKPIの進捗

サステナビリティへの取組みを一層推進していくために、5つの重点課題（マテリアリティ）に対して設定した「サステナビリティKPI」はいずれの項目も順調に進捗しています。

#### ●2030年度までの目標

重点課題	項目	数値目標	実績 2024年9月末
地域経済の活性化	サステナブルファイナンス実行額（うち環境分野）	2兆円 (8,000億円)	5,786億円 <sup>※1</sup> (2,111億円)
	グループ預り資産残高	5,500億円	4,817億円
地域社会の持続的発展	ソーシャルインパクト投資	20億円	4.7億円 <sup>※1</sup>
	DX支援コンサルティング件数	3,000件	578件 <sup>※1</sup>
環境保全と気候変動対策	CO <sub>2</sub> 排出量(2013年度比)	100%削減	42.7% <sup>※2</sup>
	紙使用量(2019年度比)	50%削減	35.1%
多様な人材の活躍推進	女性管理職比率	20%	10.2%
	有給休暇取得率	80%	28.4%

※1: 2022年4月からの累計値 ※2: 2024年3月末実績（ソコテックによる検証値を基に算出）

#### ●継続的に取り組む目標

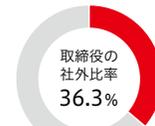
重点課題	項目	数値目標	実績 2024年9月末
ガバナンスの高度化	危機発生時における初動対応訓練の実施	年2回以上	4回
	投資家との対話	年10回以上	25回

### 女性活躍推進とガバナンスの高度化

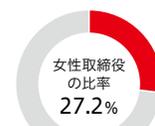
(2024年6月30日現在)

当社グループは管理職への女性登用を積極的に推進しており、将来、管理職への登用が期待される女性リーダーの人材育成を計画的に実施しています。

2024年6月には東海地区の地銀では初となるプロパーの女性社員を取締役執行役員に起用しました。サステナビリティなどへの高い知識と実行力をもつ女性の取締役が意思決定に関与することで、企業パフォーマンスの向上やガバナンスの高度化をはかっています。



社外取締役 4名/11名



女性取締役 3名/11名

#### ●女性管理職比率

	2022年 3月末	2023年 3月末	2024年 3月末	2024年 9月末
女性管理職比率	6.7%	7.7%	9.1%	10.2%